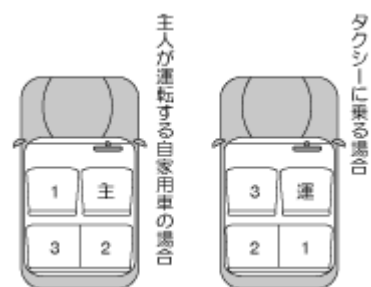


乗り物の上席と末席

- 室内では上座・下座というように歴然と席次が決められています。

同じように乗り物にも、乗るべき席と乗り込みの順番があります。席順は要するにその中で上位の方に快適で安全、便利な席を提供することなので、このサービス精神を根本に判断していけば、間違いを犯すことはまずありません。

仲間内で騒いでいるうちに目上の方をさしおいてしまうなど、当人にとっては罪意識のない行為であっても、眉をしかめられるのが席次です。



- 自動車の席次

自動車の席次は、危険（安全）度の少ない席（高い席）が上下の基準になります。上図のタクシーで後部座席に3人が乗る場合、3人目は中央の席となります。運転席の隣は事故に遭遇した場合、一番危険なので末席になります。

一方、マイカー（主人が運転）の場合は助手席が上席となります。この場合は安全に対しては主人が責任を負い、会話等のもてなす姿勢が席次を優先させます。そのため主人の隣席が上席となるのです。

- 列車に乗る席順

進行方向に顔が向き、窓から風景の移りゆきを楽しめる席が上席です。進行方向・通路側で人の往来が煩わしい場所が末席になります。

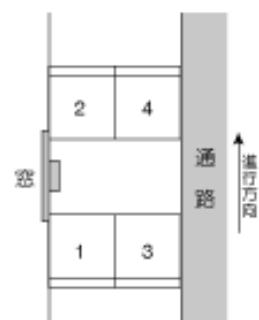
- 大型バスに乗る場合

前部の運転手席に近いシートが上席です。

（列車の場合、車輦全体では、中央部が上席）。

個々のシートの上席末席の区分けは、列車と同じですが、シートが3人掛けなら、真ん中の窮屈な席が3番目となります。

この場合は自由度が基準となります。



- 飛行機に乗る席順

飛行機内ではコックピットのある前方が上席です。

通常、ジャンボ機の場合、列車と同じく窓側が最上席ですが、雲海に入って何も見えない路線もあります。トイレに立つ、電話連絡が必要など、席次は着席者の都合により話し合いで決めるのがベストのようです。

- エレベーターでの席次

一番奥から入り口に向かって一般的な配置のようですが、むしろ、来客に対するエレベーターのドアの開閉（乗るとき）や見送りにこそ、心配りを忘れないで下さい。